

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	15 - 学 - 3
-----------------	------------

平成 15 年度配分 研究成果の概要

研究名	パブリックデザインにおける文化と伝統 －アジア・デザインの現場を中心として				
配分を受けた 特別研究費	学長特別研究費 3,400 千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の 場合の分担
	文化政策学部	芸術文化学科	講師	谷川真美	調査研究および展覧 会関連行事企画運 営
共同 研究 者	デザイン学部	生産造形学科	助 教 授	佐井国夫	調査研究および展覧 会関連行事企画運 営(広報関連作業)
発表の方法 (予定で可)	1 紀 要		号 数	第 号 (年 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	③ その他 発表の方法:書籍(中国にて出版予定)		発表日 (発表 予定日)	平成 16 年 8 月 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

デザインは機能的、現代的要素を問題とするだけではなく、それぞれの文化と伝統を背景とした要素があり、そのことによって優れたデザインが生まれる場合も多い。本研究ではパブリック・デザインに多くかかわっている現代中国の著名デザイナー2名の展覧会を開催することを中心として、デザインにおける現代性と、地域性文化的背景との融合について検証し、またこのようなデザインが地域に与える活性、成果について考えるものである。

アジアのデザインについては日本では情報が少なく、また、欧米のデザインに比べるとやや劣ったものと見られることが多い。このような均一的な先入見を変えるために、本学学生および周辺地域への情報発信として、アジアの視覚芸術に関する情報を伝えることは重要な作業であると思われる。

(研究の実施方法等)

1、「墨と椅子について—カン・タイキョン、フリーマン・ラウデザインワーク展」の開催を行った。

(2003年6月9日—6月25日)(資料添付)

および出展作家によるレクチャー、ワークショップを本学学内にて開催。

(2003年10月13日)

2、中国およびアジア圏のデザインに関する調査研究を行った。

2003年10月9日—14日に名古屋で開催された世界グラフィックデザイン会議に出席。アジア各国のデザイナーへのヒアリングおよび意見交換、調査を行った。

3、本学学生の、展覧会および関連行事企画運営への参加。

(得られた成果等)

1、上記展覧会は、地元新聞、テレビなどにとりあげられて紹介され、一般の来場者も多数訪れた。

2、アジア圏のデザイン調査に関しては現在も研究を続行中であり、その一部はすでに香港中文大学および香港理工大学で2004年3月に研究代表者が、特別講義として行った。

3、学内での展覧会出品作家によるレクチャーでは、アジアのデザインについて学生から活発な発言が行われ、有意義な意見交換が行われた。

また、そのあと、デザイン関連のワークショップを行い、本学学生の自主的な制作が行われた。一部は中国での出版物のなかで使用される予定である。